サイバー美少女テロメア (1998)

メディア TV

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

1998/04/04 ~ 1998/06/27

TV放映

土曜日

24 : 40 ~ 25 : 10

テレビ朝日

【解説】

17歳の誕生日、アサギは超能力を発現した。仲間を探していた、レナ、イツミに出会い、共に超能力の研究者・門倉の保護を受けつつ、能力者を探すことになる。人の能力を吸い取り拡大していく能力者・謎の少年シュウは、3人の前に度々現われ、門倉への疑念を植えつけていく。やがて門倉の元を逃げ出した3人は、かつて門倉と共に研究していた老人・和泉の元に身を寄せ、門倉と、その研究成果、強大な能力者サイとの対決を重ねる。

やや物足りなさの残る効果で示される“超能力”、遺伝子操作による超能力者の誕生、能力を制御するためのサイバースーツはボンテージルックに過ぎない、と設定・演出とも全体に目新らしさはない。とはいえ、ウィークエンド枠、円谷特撮、題字：実相寺昭雄、ボンテージ姿はフィギュア化も企画、など、オトコノコ好みの要素は満載だ。そういった導入に対し、実際には、少女達の友情や葛藤がせつなく描かれ、なにより、最初から最後まで主人公アサギとボーイフレンド・サトルの恋がさわやかに展開する、オンナノコにこそお薦めしたい内容となった。アサギ役はテレビ版『エコエコアザラク』17話「私」での演技が光った、つぐみ。サトル役は舞台劇『身毒丸』の主演を射止めた期待の新人、藤原竜也。実年齢は4歳離れた二人のカップルは、同じく円谷プロ作品である『ウルトラマンティガ』の、ダイゴ&レナのカップルに匹敵すると言っても過言ではなかろう。それだけに最終話への展開は、まさに光と影である。

【クレジット】

監督	中嶋豪	
製作	円谷一夫	
プロデューサー	中嶋豪	(テレビ朝日)
	濱田知彦	(円谷プロダクション)
	油谷岩夫	(コダイ)
脚本	横谷まさひろ	
	笠井健夫	
CG	國島宣弘	
撮影	岡田次雄	
美術	五辻圭	
編集	山田宏司	
音楽	桜庭統	
ビジュアルスーパーバイザー	高野宏一	
出演	つぐみ	九条アサギ
	嘉門洋子	橘レナ
	三輪ひとみ	月島イツミ
	藤原竜也	真岡サトル

田邊晋太郎 天童シュウ
中丸新将 門倉清之助